

冠婚葬祭コンピレーションアルバム「caerimonia」

解説：asakawa（メグカップP）

■Until

告白できないまま卒業を迎えてしまいそうな、甘く切ない胸の内を歌った kuma+さんと zilch さんのポップソング。「だーいすきよっ」としゃくり上げるところなど、GUMI 独特のかわいさを十分に引き出しています。動画も大好評で迎えられました。

■夢のキャンパス

みっちさん（かいわれP）の書き下ろし。旅立つ友を送る場面が、鏡音リンとのデュエットで歌われます。さよならではなくて、これまでの感謝と新たな飛躍へ。ギターソロに vilP を迎え、明るいロックサウンドが響き渡ります。

■cheer × drop

最愛の人が、命がけで教えてくれたことを、自分は今こうして歌で伝えている。ピアノを中心とした小さな楽器編成で、じっくりと聴かせるバラードです。ちなみに paffa さんのP名は、曲作りについて生放送で発言された際、コメント番号が 214 番だったことに由来しているとか…。

■してみたい

少女の素直な結婚願望は、経験者が語るさまざまな困難をも、乗り越える力があるのかもしれない。そんな予感をさせる、コミカルなデュエット曲です。かつんさんならではの、肩の力が抜けた GUMI 歌唱、がくぼのサポートも良い味を出しています。

■はじめてのひかり

ガチャポイド（リュウト）の発売一周年を記念して、これから生まれてくる赤ちゃんと、待ち受けるお母さんの心情を描いた作品。『ぼぷりぼっと2 ぐりーん』収録作で、同じく出産をテーマにした曲『ちいさないのち』からサビの旋律を引用しています。

■HAPPY BIRTHDAY☆～GUMI - Power Edit～

ボカロPの特権、それは自分の誕生日を GUMI ちゃんが歌で祝ってくれること！ニコニコ動画では miki 版、巡音ルカ版も公開されており、各ボカロの誕生祭生放送でもリクエストされる四重婚Pの定番曲です。

■灰と雪

デビュー曲『失われた恋のうた』で、新たな GUMI バラードの作り手として注目された koko さんの書き下ろし。冬景色の中、最愛の人を失った心情を描きます。アルトの声域で淡々と歌う GUMI の声が切なさを感じます。

■ con tenerezza

これから生活を共にする人への、素直な愛情を描いた作品。題名通り、優しく柔らかみをもって歌います。mammaさんがニコニコ動画に公開した際には、曲にぴったり合う花嫁姿のGUMIちゃんのイラストが採用され、生放送に集まった視聴者から「けしからん」と称賛を浴びました。

■ 3分間のリング

vilPの、スローテンポでじっくり聴かせる作品。この曲については、あえて解釈を書きません。途中、ピアノと弦楽器の1分半にわたる間奏で、きっと皆さんの心に、それぞれの物語が見えることでしょう。

■ おめでとう自分

サイケデリック・トランス系のオリジナル曲を数多く手掛けている外道さん。この曲でも、明るい歌詞なのに一抹の不安や寂しさを感じさせる、独特のメロディーを聴かせてくれます。

■ さらばわが友わが恩師

卒業の日、恩師が弾くピアノに合わせて、みんなで歌ったお別れの歌。GUMIが微妙に音程を振るわせているのに、そういえば彼女は泣いていたなあ、なんて思い出もよみがえってきます。少し古風な歌詞もノスタルジーを誘います。

■ あいのうた

「生ぐーみん。」に参加した6人がリレーして作詞し、外道さんが曲をつけました。人生最後の日、こうして温かく見守られながら、愛に包まれて旅立てたら最高ですね。コーラスにミクとLilyがいます。

■ それから

本稿執筆の時点で、この曲の動画は公開されていませんが、筆者の脳裏には映画のワンシーンが思い浮かぶようでした。ざわPの楽曲には、いつもそういう力があります。ギター1本で始まって、徐々にオケが厚くなっていくのが効果的です。

■ 卒業 -また会う日まで-

kk2さんが2011年3月に発表した作品。偶然にも、このアルバムの第1曲目『Until』の世界に共通する、前向きな卒業ソングでこのアルバムを締めることになりました。ここまでお聴きいただいた皆様に感謝を込めて、じゃあね、バイバイ！また会う日まで。

=完=